

応募要領

■ 応募資格

| | |
|----------------------|--|
| 会員及びそれに準ずる 他学会の会員 | 本会会員および電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会、本会と協定を締結した海外の学会（IEIE, KICS, KIISE, IEEE/CS, IEEE/Com. Soc., IEEE /PHO, IEEE/MTT-S）の各学会の個人会員に限ります。 |
| 非会員 | 上記以外の方全て。非会員の方も講演発表できますが、本会会員になることをおすすめします。なお、入会申請及び入会金・会費の納入は、総合大会の場合は大会開催前の1月20日、ソサイエティ大会の場合は大会開催前の7月20日までにお済ませ下さい。 |

■ 応募講演内容

最近行った研究および調査の報告、または成果を挙げた新しい企画および試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。但し、内容が不相当であるものは採択致しません。

プログラム編成上、希望発表分野の変更を行うこともございます。また、応募件数の少ないシンポジウムセッションは中止することがあります。その場合、応募された論文は一般セッションに変更し、関連分野での発表とします。変更された論文について原稿の書き換え、講演参加費の変更は行いません。

講演不採択の場合は、講演参加費を返却致しますが、申込締切後、本人からの取消の場合は返却致しません。

■ 使用言語

日本語または英語

■ 発表形式・発表時間

一般セッション：1頁，1件15分（発表時間10分，質疑時間5分）以内

シンポジウムセッション：2頁以内，1件25分（発表時間20分，質疑時間5分）以内

発表時間は、プログラム編成上短縮または延長されることがあります。

■ 使用機器

一般セッション、シンポジウムセッションともにPC プロジェクターとします。パソコンは講演者本人がご持参下さい。

プロジェクターがHDMI 接続に対応されていない場合がございます。

ミニ D-sub15 接続機器を各自ご用意下さい。

※薄型 Windows ノートや Mac を使用される方は、接続変換コネクタを必ずご持参下さい。また、コネクタ等を利用された場合、特にMac 使用の場合は出力に不具合が生じることがございますので、パワーポイントでプレゼン資料をご用意頂くなど、事前にご準備下さい。

■ 応募上の制限

一人が一般セッション、およびシンポジウムセッションで各1件の発表を認めます。（一般セッションとシンポジウムセッションを各1件申し込まれた場合、それぞれの講演参加費のお支払いが必要となります。）

一人が数件の応募論文に共著者として連記することは差支えありません。

内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。複数発表の場合は、その相違がわかる表現（例えばサブタイトルで観点等を表記する）したタイトルとして下さい。

■ 著作権について

本会では、このたび包括的な「著作権規程」が制定され、平成15年4月1日から施行されることとなりました。大会の論文投稿につきましても本規程が適用されます。従来、大会におきましても、著作権を本会に譲渡して頂くことで論文受付を実施して参りました。また、本会発行の大会論

文集に掲載不可となった場合は、その時点で本会が保有する当該著作物の著作権を著作者に返還しますが、原稿はお返し出来ませんので御了承下さい。

「著作権規程」は、下記にございますので、御一読頂き大会への論文投稿をお願い申し上げます。

なお、大会の電子投稿に関して、著作権譲渡は「著作権譲渡に同意する」ボタンを設け対処することと致しますのでよろしくお願い申し上げます。また、講演者の方は、共著者（連名者）が本著作権譲渡に関して同意されていることを確認の上、登録をお願いします。

「著作権規程」は大会サイト (<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/chosakukenkitei.pdf>) をご覧下さい

■講演申し込み方法

大会ウェブサイト上にある講演受付システムからお申し込み下さい。講演申込締切日は厳守です。登録完了後、24時間以内に電子メールが届かない場合は、正常に登録されていない可能性もありますので、必ずメールを確認してください。

■登録内容の確認・修正・変更

講演申し込み後、講演者連絡先に受付番号とパスワードがメールで送られます。

受付番号とパスワードを入力して講演受付システムにログインし、登録内容の確認・修正・変更ができます。

■原稿執筆要領

・ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは、一般セッション（500K）シンポジウムセッション（1M）以内として下さい。制限を超えると送信できません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないで下さい。

・ページ設定

A4判、上マージン 30mm、下マージン 27mm、左マージン 18mm、右マージン 18mm、コラム間マージン 7mm を目安として作成して下さい。

・PDF作成オプションについて

投稿されたPDFファイルは、Windows および Macintosh 対応の DVD-ROM に掲載されますので、必ずフォントの埋め込みがされたPDFを作成願います。（作成時はジョブオプションを高品質またはプレス品質を選択してください。）。フォントの埋め込みがされていない場合、DVDを利用する環境によっては文字化けを起こすことがあります。

・色使い

文字も含め、色使いの制限は特にありません。ただしモノクロプリンタで出力したものを冊子論文集の原稿として利用しますので、色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意して下さい。

・写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成して下さい。

動画について

PDFファイルに動画は含めないで下さい。

図、表、イラスト、写真、映像について

図、表、イラスト、写真、映像、その他他人の創作にかかるもの（出版社等を含む）を使用する時は、その出所及び使用条件を十分確認され、使用許諾を行って下さい。

・リンクについて

PDFの中にリンク設定は含めないで下さい。

・ファイル形式

電子原稿は、Adobe Reader9.0以上で表示または印刷可能なPDF（Portable Document Format）ファイルで提出して下さい。

・ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送り下さい。

・作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。

OSはWindows 7以上またはMac10.9以上を推奨します。

・PDFファイルの作成方法

PDFファイルは、原則としてAcrobat 9.0以降（または同等品）を用いて作成します。

Acrobatの詳細については<http://www.adobe.co.jp> をご覧ください。

原稿をPDFファイルに変換する際は、できるだけAcrobat Distillerを使って作成して下さい。

できるだけフォントが埋め込みされたPDFを作成して下さい（PDF設定で高品質印刷またはブ

レス品質を選んでください。

作成後、PDF を作成した機械とは別の機械で一度プリントアウトして御確認下さい。（特に数式・表・グラフなどを使用している方は文字化けなどの可能性がありますので御確認下さい。）